

約 3,040 万画素の解像力と高速連写・高感度性能を両立  
フルサイズデジタル一眼レフカメラ “EOS 5D Mark IV” を発売

キヤノンは、高画素・高速連写・高感度などの性能を従来機種と比較して総合的に向上させたハイアマチュアユーザー向けのデジタル一眼レフカメラ“EOS 5D Mark IV”を9月8日より発売します。



EOS 5D Mark IV  
\*EF24-105mm F4L IS II USM 装着

“EOS 5D Mark IV”は、「EOS 5D Mark III」（2012年3月発売）の後継機種で、静止画・動画ともに本格的な作品づくりを実現するため、フラッグシップ機の「EOS-1D X Mark II」（2016年4月発売）に採用されているさまざまな新技術を搭載した高性能モデルです。

■ 高画素・高速連写・高感度などの基本性能がバランス良く向上

有効画素数約 3,040 万画素 35mm フルサイズ CMOS センサーおよび映像エンジン「DIGIC 6+」の搭載により、常用 ISO 感度 ISO100～32000 を実現しています。また、新開発ミラー振動制御システムの採用により、最高約 7 コマ/秒の高速連写を実現しています。さらに、撮像素子から得たデュアルピクセル情報を RAW 画像に付加する「DPRAW 撮影」が可能となり、キヤノン独自の RAW 現像ソフトウェア（無償）を通じて撮影後に解像感補正などの微細な画像処理ができます。

■ フラッグシップ機と同等の優れた機能を搭載

「61 点高密度レティクル AF II」の搭載により、従来機種より縦方向に測距エリアが拡大し、エクステンダーを使用した超望遠撮影時は、レンズの開放絞り数値が F8 までの明るさでも全測距点 AF が可能<sup>※1</sup>です。なお、中央測距点では EV-3 の低輝度限界を達成し、暗い環境下でも高精度な AF 合焦を実現しています。また、解像劣化の要因となる歪曲収差や回折現象などを撮影時に補正可能なほか、従来のレンズ光学補正だけでは対応できない収差の補正と、ローパスフィルターに起因する解像劣化を補正する「デジタルレンズオプティマイザ」機能を撮影時に適用できるなど、さらなる高画質を実現しています。さらに、「EOS 5Ds/EOS 5Ds R」（2015年6月発売）と同じ、約 15 万画素の RGB+IR（赤外光）測光センサーを搭載しており、被写体捕捉・追尾性能が向上しています。

■ 4K（4096×2160）動画を中心とした動画撮影機能の強化

4K/30p の高精細な動画撮影やフル HD/60p、スローモーション映像の撮影に適した HD/120p 動画のほか、タイムラプス動画撮影が可能です。また、フラッグシップ機と同様に、撮影した 4K 動画から任意の 1 コマを静止画<sup>※2</sup>として切り出す「4K フレームキャプチャー」機能を搭載しています。

製品名	希望小売価格	発売日	生産台数
EOS 5D Mark IV	オープン価格	2016年9月8日	3万4,000台/月

※1 装着するレンズにより測距点数、クロス測距点数が変動。

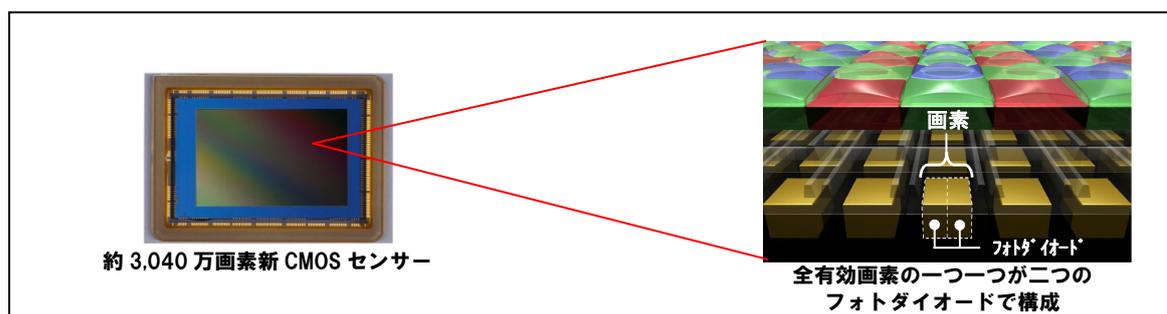
※2 動画の 1 コマを静止画として保存するため、通常の静止画と同等の画質にはなりません。

- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノン株式会社 広報部 広報課 03-5482-8565 (直通)
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90002
- 報道関係者用ホームページ : e-pr.canon.jp ● EOS DIGITAL ホームページ : canon.jp/eos

## <主な特長>

### 1. 高画素・高速連写・高感度などの基本性能がバランス良く向上

- ・ 新開発の有効画素数約 3,040 万画素 35mm フルサイズ CMOS センサーを搭載。従来機種より画素数が向上し、さらなる高画質を実現。
- ・ 映像エンジン「DIGIC 6+」<sup>アラス</sup>を搭載しており、常用 ISO 感度は従来機種より高い最高 ISO3200<sup>※1</sup>を実現。これにより、暗い環境下でも高感度・高画質撮影が可能。さらに、「DIGIC 6+」<sup>アラス</sup>と新開発のミラー振動制御システムとの組み合わせにより、高画素機ながらも最高約 7 コマ/秒の高速連写を達成。
- ・ 1 つの画素が撮像と位相差 AF の両方を同時に行うことが可能な「デュアルピクセル CMOS AF」の搭載により、ライブビュー撮影時にも高速で追従性に優れた AF を実現。



デュアルピクセル CMOS AF の仕組み

- ・ 撮像素子から得たデュアルピクセル情報を付加する「DPRAW 撮影」が可能。撮影後にキャノン独自の RAW 現像ソフトウェア「Digital Photo Professional (Ver.4.5)」で「解像感補正」「ボケシフト」「ゴースト低減」の処理が可能<sup>※2</sup>。

※1 ISO 感度の設定範囲は L (ISO50 相当) から H1 (ISO51200 相当)、H2 (ISO102400 相当) まで拡張 (静止画撮影時)。

※2 「解像感補正」「ボケシフト」「ゴースト低減」のいずれか 1 つを処理することが可能で、開放絞りのときに、特に調整量・補正効果が向上します。なお、使用するレンズや撮影シーンおよび条件によっては十分な効果を得られないことがあります。なお、カメラの撮影位置 (縦・横) によって調整量・補正効果が変わります。

### 2. フラッグシップ機と同等の優れた機能を搭載

- ・ 「61 点高密度レティクル AF II」を搭載しており、AF 測距エリアを従来機種と比較して縦方向に拡大。左右の測距エリアでは縦方向に約 24%、中央の測距エリアでは縦方向に約 8.6%測距エリアを拡大。
- ・ 全測距点 61 点のうちクロス測距点数は最大で 41 点、デュアルクロス測距点数は最大 5 点を実現<sup>※1</sup>。
- ・ 61 点全点が F8 光束に対応しており、エクステンダーを使用した超望遠撮影時に、レンズの開放絞り数値が F8 までの明るさとなる場合でも、全測距点で AF が可能<sup>※2</sup>。
- ・ ファインダー撮影時 (ワンショット AF、中央 F2.8 測距点) において低輝度限界 EV-3 を達成<sup>※3</sup>。暗い環境下でも高精度な AF 合焦が可能。
- ・ 従来のレンズ光学補正だけでは対応できない収差の補正と、ローパスフィルターに起因する解像劣化を補正する「デジタルレンズオプティマイザ」機能を、EOS シリーズで初めて撮影時に実現。撮影後に手間をかけることなく、より精細な画像を得ることが可能。また、フラッグシップ機と同様に、撮影時に歪曲収差補正と回折補正を実現。
- ・ 「EOS 5Ds/EOS 5Ds R」と同じ、約 15 万画素 RGB+IR 測光センサーの搭載により、シーン解析の精度が大幅に向上。被写体の顔や色を検知できるようになり、測光・調光やオートホワイトバランス、AF 精度がさらに向上。

※1 装着するレンズにより測距点数、クロス測距点数、デュアルクロス測距点数が変動。

※2 装着するレンズにより測距点数、クロス測距点数が変動。

※3 ライブビュー撮影時 (ワンショット AF 時、常温、ISO100) は、低輝度限界 EV-4 を実現。

### 3. 4K (4096×2160) 動画を中心とした動画撮影性能の強化

- ・ 動画撮影時にもスムーズで滑らかなAFを可能とする「デュアルピクセル CMOS AF」とタッチパネル対応の液晶モニターにより、AF フレームを素早く選択。撮影機会を逃すことなく快適な動画撮影が可能<sup>※1</sup>。
- ・ 4K (30p/25p) での動画撮影が可能。また、デジタルシネマの標準規格 (DCI<sup>※2</sup> 規格の 4K/24p) の動画撮影も可能。
- ・ フル HD/60p やスローモーション映像に適した HD/120p の動画撮影が可能。また、動画記録形式は映像制作に適した MOV 形式および SNS へのアップロードなど汎用性に優れた MP4 形式の両方に対応。
- ・ 動画撮影時において、4K で記録した動画の 1 フレームを約 880 万画素 (4096×2160) の静止画として切り出し、JPEG 画像<sup>※3</sup> として保存する「4K フレームキャプチャー」機能を搭載。
- ・ 輝度差の大きいシーンにおいて白とびを抑制する HDR 動画撮影機能を搭載。
- ・ 「タイムラプス動画撮影」機能を搭載しており、一定間隔で撮影した静止画を自動でつなぎ合わせて動画を作成することが可能。



4K 動画撮影時においてもタッチパネルにより快適なピント合わせが可能

※1 ハイフレームレート動画撮影中は AF によるピント合わせができません。

※2 米国の大手映画配給会社 6 社で構成されるデジタルシネマの標準化団体 DCI (Digital Cinema Initiatives) が策定する規格。

※3 動画の 1 コマを静止画として保存するため、通常の静止画と同等の画質にはなりません。

### 4. 快適な操作性と高い信頼性

- ・ 外装には軽量で高剛性を実現するマグネシウム合金製カバーを採用。
- ・ 外装カバーの合わせ部、電池室ふた、カードスロットカバー開閉部などにシーリング部材を組み込むほか、ダイヤル回転軸などシーリング部材を組み込んでいない場所では部品間の隙間を極力小さくするよう、部品を高精度化。これにより、不用意に降りかかる砂じんや水滴などのカメラ内部への侵入を抑制<sup>※1</sup>。
- ・ タッチ操作に対応した液晶モニターを採用し、より直感的な撮影操作が可能。
- ・ 機能・性能を大幅に進化させながらも、外装・機構の見直しと構造的な工夫により、<sup>けんろう</sup>堅牢性を維持しつつ従来機種に対して約 60g の軽量化を実現。
- ・ 撮影に関するさまざまな情報を画像に記録することができる IPTC 情報<sup>※2</sup> を、カメラの設定や画像転送などのリモート撮影が可能なソフトウェア「EOS Utility」からカメラ本体に登録することが可能。報道撮影関連など、膨大な画像を取り扱う際の利便性が向上。
- ・ 測距エリア選択ボタンをボディ背面の右手親指の位置に配置。操作ボタンカスタマイズなどの設定により測距エリアのダイレクト切り替えが可能となるなど、操作性が向上。

※1 扉部、端子カバーなどの開閉部は防じん・防滴性能を発揮させるためにしっかり閉じる必要があります。

なお、防じん・防滴に配慮した構造ですが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐものではありません。

※2 International Press Telecommunications Council (国際新聞電気通信評議会) の略で、画像に撮影者の著作権情報などを付加することのできる規格。

### 5. Wi-Fi(無線通信)機能と NFC 機能のほか GPS 機能も搭載

- ・ Wi-Fi (無線通信) 機能と NFC 機能を搭載しており、スマートフォンやタブレットなどの携帯端末およびパソコンによるリモート撮影や画像転送が可能<sup>※1</sup>。また、FTP サーバーへの画像転送にも対応。さらに、静止画や動画に撮影場所の位置情報を付加する GPS も搭載。
- ・ カメラの拡張端子に装着することにより、ワイヤレスで撮影画像の転送を可能とするワイヤレスファイルトランスミッター「WFT-E7B (Ver.2)」(2014 年 10 月発売) にも対応<sup>※2</sup>。

※1 スマートフォンやタブレットは「App Store」や「Google Play」から「Camera Connect」(無償) のインストールが必要。また、パソコンは同梱の CD-ROM から「EOS Utility」のインストールが必要。

※2 「WFT-E7B」側のファームウェアの更新が必要。

## <主なアクセサリー（別売）>

### ■ バッテリーグリップ “BG-E20”

- ・ “EOS 5D Mark IV”専用のバッテリーグリップ。バッテリーを2個搭載することができ、約2倍の撮影可能枚数を実現。
- ・ “バッテリーパック LP-E6N（本機種に付属）”に対応。
- ・ ビデオカメラ用三脚への装着の際、カメラ本体の回転を防ぐビデオボス（ボス穴）を装備。
- ・ “EOS 5D Mark IV”ボディーと同様にマグネシウム合金製カバーを採用し、優れた堅牢性<sup>けんろう</sup>を実現。



バッテリーグリップ BG-E20



EOS 5D Mark IV 装着時

### ■ プロテクティングクロス “PC-E1”

- ・ キヤノンのレンズ交換式デジタルカメラおよび交換レンズ向けのラッピングクロスを用意。“EOS 5D Mark IV”に“EF24-105mm F4L IS II USM”（2016年10月下旬発売予定）を装着した状態以下のサイズに対応。



プロテクティングクロス “PC-E1”  
（EOS 5D Mark IV と EF24-105mm F4L IS II USM）

### ■ レインカバー “ERC-E5S／ERC-E5M／ERC-E5L”

- ・ 高いはっ水性を持つ柔らかい素材のレインカバー。装着するレンズの大きさに応じて3種類のサイズを用意。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
バッテリーグリップ “BG-E20”	33,000 円	2016年9月8日
プロテクティングクロス “PC-E1”	2,900 円	2016年9月8日
レインカバー “ERC-E5S／M／L”	11,000 円	2016年10月下旬

## <商品構成（キット内容）>

名称	内容
EOS 5D Mark IV ・ ボディー	EOS 5D Mark IV
EOS 5D Mark IV ・ EF24-105mm F4L IS II USM レンズキット	EOS 5D Mark IV、 EF24-105mm F4L IS II USM
EOS 5D Mark IV ・ EF24-70mm F2.8L II USM レンズキット	EOS 5D Mark IV、 EF24-70mm F2.8L II USM
EOS 5D Mark IV ・ EF24-70mm F4L IS USM レンズキット	EOS 5D Mark IV、 EF24-70mm F4L IS USM

\*上記表の内容はEOS 5D Mark IV 本体と交換レンズのみであり、付属品を表記しておりません。また、国内市場向けの商品構成です。  
\*EF24-105mm F4L IS II USM レンズキットは2016年10月下旬発売予定です。EF24-70mm F2.8L II USM レンズキットには、「FIVE オリジナルストラップ」を同梱します。また、国内市場向け商品構成です。

## <主な製品仕様>

<b>型式</b>	<b>型式</b>	デジタル一眼レフレックス AF・AE カメラ
	<b>記録媒体</b>	CF カード (タイプ I 準拠、UDMA モード 7 対応)、SD/SDHC <sup>※</sup> /SDXC <sup>※</sup> メモリーカード ※UHS-I カード対応
	<b>撮像画面サイズ</b>	約 36.0×24.0mm
	<b>レンズマウント</b>	キヤノン EF マウント
<b>撮像素子</b>	<b>形式</b>	CMOS センサー
	<b>カメラ部有効画素</b>	約 3,040 万画素 *1 万の位を四捨五入
	<b>アスペクト比</b>	3 : 2
	<b>ダスト除去</b>	自動/手動、ダストデリートデータ付加
<b>記録形式</b>	<b>記録フォーマット</b>	DCF2.0
	<b>画像タイプ</b>	JPEG、RAW (14bit、キヤノン独自) RAW+JPEG 同時記録可能
	<b>記録画素数</b>	L (ラージ) : 約 3,010 万 (6,720×4,480) 画素 M (ミドル) : 約 1,330 万 (4,464×2,976) 画素 S1 (スモール 1) : 約 750 万 (3,360×2,240) 画素 S2 (スモール 2) : 約 250 万 (1,920×1,280) 画素 S3 (スモール 3) : 約 35 万 (720×480) 画素 RAW (ロウ) : 約 3,010 万 (6,720×4,480) 画素 M-RAW : 約 1,690 万 (5,040×3,360) 画素 S-RAW : 約 750 万 (3,360×2,240) 画素
	<b>撮影時の 画像処理</b>	<b>ピクチャースタイル</b> オート、スタンダード、ポートレート、風景、ディテール重視、 ニュートラル、忠実設定、モノクロ、ユーザー設定 1~3
	<b>ホワイトバランス</b> オート (雰囲気優先)、オート (ホワイト優先)、プリセット (太陽光、日陰、くもり、白熱電球、白色蛍光灯、ストロボ)、 マニュアル、色温度指定 (約 2,500~10,000K)、ホワイトバランス 補正、ホワイトバランスブラケティング可能 *ストロボ色温度情報通信対応	
	<b>レンズ光学補正</b> 周辺光量補正、歪曲収差補正、デジタルレンズオプティマイザ、 色収差補正、回折補正	
<b>ファインダー</b>	<b>方式</b>	ペンタプリズム使用、アイレベル式
	<b>視野率</b>	上下/左右とも約 100% (アイポイント約 21mm 時)
	<b>倍率</b>	約 0.71 倍 (50mm レンズ・∞・-1m <sup>-1</sup> )
<b>オート フォーカス (ファインダー 撮影時)</b>	<b>方式</b>	専用 AF センサーによる TTL 二次結像位相差検出方式
	<b>測距点</b>	最大 61 点 (クロス測距点 : 最大 41 点) *使用レンズにより、測距点数、デュアルクロス測距点数、クロス測距点数が 変動する *中央部縦 5 測距点は F2.8 対応デュアルクロス測距 (AF グループ属性 : A グループレンズ使用時)
	<b>測距輝度範囲</b>	EV -3~18 (中央 F2.8 対応測距点・ワンショット AF・常温・ISO100)
	<b>AF 微調整</b>	AF マイクロアジャストメントにより対応 (全レンズ一律調整、 レンズごとに調整)
<b>露出制御</b>	<b>測光方式</b>	約 15 万画素 RGB+IR 測光センサー使用、252 分割 TTL 開放測光 EOS iSA (intelligent Subject Analysis) システム ・評価測光 (すべての AF フレームに対応) ・部分測光 (中央部・ファインダー画面の約 6.1%) ・スポット測光 (中央部・ファインダー画面の約 1.3%) ・中央部重点平均測光

	<b>測光輝度範囲</b>	EV 0～20 (常温・ISO100)
	<b>ISO 感度 (推奨露光指数)</b>	シーンインテリジェントオート: ISO 100～12800 自動設定 P,Tv,Av,M,B:ISO オート、ISO 100～32000 手動設定 (1/3、1 段ステップ)、 および L (ISO50 相当)、H1 (ISO51200 相当)、H2 (ISO102400) の感度拡張が可能 *高輝度側・階調優先設定時は ISO200～32000
<b>HDR 撮影</b>	<b>ダイナミックレンジ調整</b>	自動、±1、±2、±3
	<b>仕上がり効果</b>	ナチュラル、絵画調標準、グラフィック調、油彩調、ビンテージ調
	<b>画像位置自動調整</b>	可能
<b>多重露出撮影</b>	<b>撮影方法</b>	機能・操作優先、連続撮影優先
	<b>多重枚数</b>	2～9 枚
	<b>多重露出制御</b>	加算、加算平均、比較 (明)、比較 (暗)
<b>シャッター</b>	<b>形式</b>	電子制御式、フォーカルプレーンシャッター
	<b>シャッター速度</b>	1/8000～30 秒 (すべての撮影モードを合わせて)、バルブ、 ストロボ同調最高シャッター速度=1/200 秒
<b>ドライブ関係</b>	<b>ドライブモード</b>	1 枚撮影、高速連続撮影、低速連続撮影、ソフト 1 枚撮影、ソフト連続 撮影、セルフタイマー: 10 秒/リモコン、セルフタイマー: 2 秒/リ モコン
	<b>連続撮影速度</b>	高速連続撮影 : 最高約 7.0 コマ/秒 *フリッカー低減撮影時、DPRAW 撮影時、ライブビュー撮影+サーボ AF 時、デジタルレンズオプティマイザ設定時は連続撮影速度が低下する *高速連続撮影時の連続撮影速度は、電源の種類、電池残量、温度、フリ ッカー低減処理、DPRAW 撮影、デジタルレンズオプティマイザ、シャッ ター速度、絞り数値、被写体条件、明るさ、AF 動作、レンズの種類、ス トロボ使用、撮影機能の設定などの条件により低下することがある 低速連続撮影 : 最高約 3.0 コマ/秒 ソフト連続撮影 : 最高約 3.0 コマ/秒
	<b>連続撮影可能枚数</b>	JPEG ラージ/ファイン: 約 110 枚 (Card Full) RAW: 約 17 枚 (約 21 枚) RAW+JPEG ラージ/ファイン: 約 13 枚 (約 16 枚) * 当社試験基準 CF カード (標準: 8GB/高速: UDMA モード 7 対応 64GB) を使用し、当社試験基準 (高速連続撮影、ISO100、ピクチャース タイル: スタンダード、ITPC 情報の付加: しない) で測定 * () 内の数値は、当社試験基準 UDMA モード 7 対応、CF カード使用時の枚数 * 「Card Full」は、カードの空き容量がなくなるまで撮影可能
<b>動画撮影機能</b>	<b>記録形式</b>	MOV、MP4
	<b>映像記録形式</b>	4K: Motion JPEG Full HD/HD: MPEG-4 AVC/H.264 可変 (平均) ビットレート方式
	<b>音声記録形式</b>	MOV: リニア PCM、MP4: AAC
	<b>動画記録サイズ</b>	4K (4,096×2,160)、Full HD (1,920×1,080)、 HD (1,280×720: ハイフレームレート動画)
	<b>フレームレート</b>	119.9p/59.94p/29.97p/24.00p/23.98p (NTSC 設定時) 100.0p/50.00p/25.00p/24.00p (PAL 設定時) * 119.9p/100.0p はハイフレームレート動画
	<b>映像記録方式/ 圧縮方式</b>	Motion JPEG ALL-I (編集用/I-only)、IPB (標準)、IPB (軽量) * Motion JPEG、ALL-I は MOV 設定時のみ * IPB (軽量) は MP4 設定時のみ

液晶モニター	形式	TFT 式カラー液晶モニター
	画面サイズ/ドット数	ワイド 3.2 型 (3 : 2) / 約 162 万ドット
Wi-Fi 機能	準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
	通信距離	約 15m * スマートフォンと通信時 * 送受信アンテナ間に障害物、遮蔽 (しゃへい) 物がなく、他の機器との電波干渉がない場合。
	NFC 接続	スマートフォンと通信およびキャノンのフォト&ムービーストレージ「Connect Station CS100」(2015 年 8 月発売) との接続に使用。
	Wi-Fi 対応プリンターで印刷	Wi-Fi 対応プリンターへ印刷画像を送信
	スマートフォンと通信	スマートフォンで画像の閲覧/操作/受信、スマートフォンでカメラをリモートコントロール、スマートフォンへ画像送信
	EOS Utility でリモート操作	EOS Utility のリモートコントロール機能および画像閲覧機能を無線で実現
	Web サービスへ画像を送信	登録したウェブサービスへカメラ内の画像やリンク先を送信
	FTP サーバーに画像転送	撮影時自動転送/画像を選択して転送/SET ボタンで転送/キャプション付きで転送 * FTPS 対応
GPS 機能	対応衛星	GPS 衛星 (アメリカ)、GLONASS 衛星 (ロシア)、準天頂衛星みちびき (日本)
	画像への位置情報付加	緯度、経度、標高、協定世界時 (UTC)、衛星捕捉状態
	位置情報の更新間隔	1/5/10/15/30 秒間隔、1/2/5 分間隔
	時刻合わせ	GPS の時刻データをカメラに設定
電源	使用電池	バッテリーパック LP-E6N/LP-E6、1 個 * 家庭用電源アクセサリ使用により AC 駆動可能
	電池情報	使用電源、電池残量、撮影回数、劣化度確認可能、電池登録可能
	撮影可能枚数の目安	ファインダー撮影: 常温 (+23°C) 約 900 枚/低温 (0°C) 約 850 枚 ライブビュー撮影: 常温 (+23°C) 約 300 枚/低温 (0°C) 約 280 枚 * フル充電のバッテリーパック LP-E6N 使用時
	動画撮影可能時間	常温 (+23°C) 合計 約 1 時間 30 分 低温 (0°C) 合計約 1 時間 20 分 * フル充電のバッテリーパック LP-E6N 使用、動画サーボ AF: しない、Full HD 29.97p/25.00p/24.00p/23.98p IPB (標準) 設定時
大きさ・質量	大きさ	約 150.7 (幅) × 116.4 (高さ) × 75.9 (奥行) mm
	質量	約 890g (バッテリー、CF カード、SD メモリーカードを含む) / 約 800g (本体のみ)
動作環境	使用可能温度	0° ~ +40°
	使用可能湿度	85%以下

\* 記載データはすべて当社試験基準、または CIPA 試験基準/ガイドラインによります。

\* 大きさ、質量は CIPA ガイドラインによります (カメラ本体のみの質量を除く)。

\* 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

## 新製品の参考価格のご案内

2016年8月25日  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

本日発表した新製品の参考価格をご案内いたします。

製品名	発売予定日	参考価格※ キヤノンオンライン ショップ販売予定価格 (税別)
EOS 5D Mark IV・ボディ	2016年 9月8日	432,500 円
EOS 5D Mark IV・EF24-105L IS II USM レンズキット	2016年 10月下旬	557,500 円
EOS 5D Mark IV・EF24-70 F4L IS USM レンズキット	2016年 9月8日	547,500 円
EOS 5D Mark IV・EF24-70 F2.8L II USM レンズキット		617,500 円

※上記参考価格はキヤノンオンラインショップ(キヤノン直販ウェブサイト)における  
2016年8月25日時点での販売予定価格であり、各販売店での価格を拘束するもの  
ではありません。各販売店での価格は各店にお問い合わせください

---

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター  
(デジタル一眼レフカメラ/ミラーレスカメラ/交換レンズ) 050-555-90002

---